

大豆特報

黒 部 市
黒 部 市 農 業 技 術 会 議

今年は、播種時期の断続的な大雨の影響で出芽不良や生育の遅れが見られます。今後は雑草防除や排水作業をしっかりと行い、初期生育を確保しましょう。特に、難防除雑草（帰化アサガオ類、イヌホオズキ）は、雑草が開花結実する前に、早めに除草を行きましょう。

1 雑草防除

～草種に合わせて、適期の防除を行う～

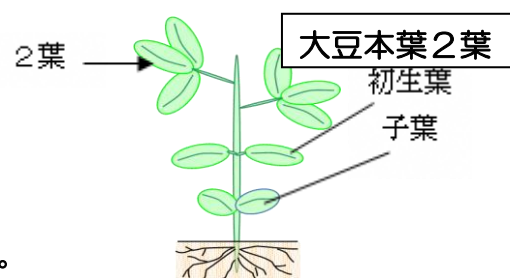
【畑地1年生雑草（イネ科雑草を除く）の防除】

除 草 剤 名	使用方法（10aあたり）	使用回数	使用時期
大豆バサグラン液剤	・薬剤 100～150 ml 希釈水量 100 l	1回	大豆2葉期～開花前 雑草の生育初期～6葉期 （雑草茎葉散布または全面散布） 但し、収穫45日前まで

- 1) 散布時期の目安は、大豆の播種後20～25日頃（大豆の本葉2～3葉期）です。
- 2) イネ科雑草には、効果がありません。



※発生が見られる場合は、指導員等にご相談下さい。



【1年生イネ科雑草の防除】

除 草 剤 名	使用方法（10aあたり）	使用回数	使用時期
ポルトフロアブル	・薬剤 300 ml 希釈水量 50～100 l	1回	イネ科雑草（双メカビラを除く） 3～10葉期 但し、収穫30日前まで
ナブ乳剤	・薬剤 200 ml 希釈水量 100 l	1回	イネ科雑草（双メカビラを除く） 6～8葉期 但し、収穫30日前まで

- 1) イネ科雑草のみを選択的に殺草します。
- 2) 茎葉処理剤なので、イネ科雑草が生え揃った初期の段階に遅れず防除しましょう。

【非選択性茎葉処理除草剤の畦間処理】

除 草 剤 名	使用方法（10aあたり）	使用回数	使用時期
バスタ液剤	・薬剤 300～500 ml 希釈水量 100～150 l	3回 以内	畦間処理（雑草生育期） 株間処理（大豆本葉5葉期以降） 但し、収穫28日前まで
ザクサ液剤	・薬剤 300～500 ml 希釈水量 100～150 l	3回 以内	雑草生育期（畦間処理） 但し、収穫28日前まで

- 1) 非選択性除草剤なので、大豆にかからないように十分に注意しましょう。
- 2) 乗用管理機での散布は「つり下げノズル」を使用し、噴口はできるだけ低くし、大豆の本葉にかからないように散布しましょう。

裏面へ

2 培土（畦立播種の場合）

～株元までしっかり土をかける～

○ 培土作業は排水の促進、根域の拡大、雑草の抑制、倒伏防止に効果があります。

【作業のポイント】

- ① 培土作業は、遅れず適期に行いましょう。
- ② ほ場が乾いている時に、培土作業を行いましょう。
- ③ 作業機は低速ギヤで、株元までしっかり土を寄せましょう。

第1回目培土（遅れずに！）

時期：本葉2～3葉期の頃

目安：播種後20～25日頃

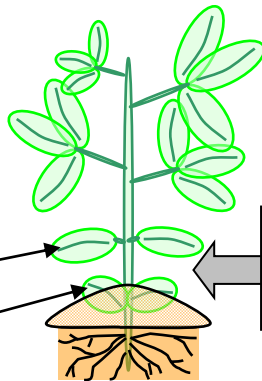
第2回目培土（確実に！）

時期：本葉4～5葉期の頃

目安：播種後30～35日頃

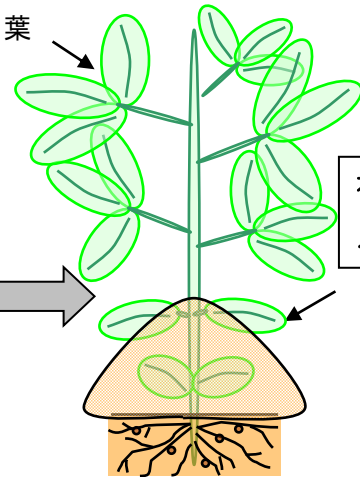
子葉が埋まる
程度まで

初生葉
子葉



しっかりと株元
まで土をかける

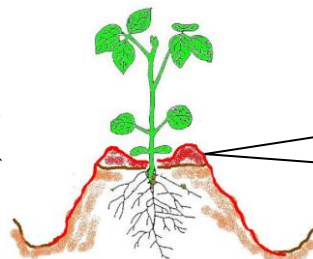
4葉



初生葉が埋ま
る程度まで

湿害に弱い頃なので、培土
が遅れると黄化しやすく、
生育量不足になる

こんな培土はダメ！



×株元に土がかかっていない
×水がたまって湿害に

生育促進・収量増加のため、培土は遅れず確実に。

3 排水対策

- 培土後にできた溝は、額縁排水溝や低く掘り下げた排水口に連結し、溝に水がたまらないようにする。
- 降雨後は、溝の連結や排水溝の崩れの手直しを行い、雨水を停滞させない。

JAくろべ営農センター TEL 52-5615
富山県新川農林振興センター TEL 52-0945

JAくろべ南部営農支援センター TEL 54-5450
北部営農支援センター TEL 54-0040
東部営農支援センター TEL 65-7220